

要 望 書

氷見市長 林 正之 様

時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素より東地域・氷見市の発展に深いご理解と格別のご教示を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在、氷見市において、8つの地区で地域づくり協議会を設立し、その計画書に基づいて活動を展開しております。東地域まちづくり協議会においても、平成29年6月1日に協議会を設立し、「夏季ふれあいラジオ体操」を中心的な行事に据え、これまで3回小・中学生や地域の老若男女大勢の参加のもと、3回実施致しました。しかし、残念ながら、昨年・一昨年は、新型コロナ感染拡大防止ということで実施を見送ることになりました。

「東地域夏季ふれあいラジオ体操」は、体操会場の清掃活動と体操をセットとして行う、極めて健康的で、また、誰もが参加することができる行事であり、地域づくりにとっては格好な活動であると考えております。幼・小・中学生をはじめ、若者がこの行事を末永く継続することは、将来海越しの立山連峰が世界遺産に認定される際には、地道な活動の一つとして評価されるのではないのでしょうか。「継続は力なり」といいます。ここで、一段ギアを上げるということで、NHKの夏期巡回ラジオ体操を招致していただきたい。そのことによる感動体験は、必ずや若者の明るい未来に繋がり、人づくり・まちづくりに大きな意義があると思います。

ところで夏期巡回ラジオ体操は、規定上氷見市が受け入れ団体になります。そこで、招致にあたり、東地域はもとより、できるだけ多くの氷見市民が参加できる行事として活動を進めていただきたいと思っております。

2022年(来年度令和4年)は、「氷見市制施行70周年」というめでたい節目の年でもあります。このラジオ体操招致が、コロナ後の明るい氷見市の一つの行事(事業)として、氷見市民の夢・希望に繋がることを念願するものです。

市当局におかれましては、公務ご多用とは存じますが、これらのことを踏まえ、招致活動を力強く展開していただきますよう切望致します。

令和3年6月29日

東地区自治振興委員協議会

会長 大嶋 充 (北加納自治振興委員)

副会長 大森 征和 (加納町) 副会長 中波 勇 (今町)

柿谷 敏之 (本川) 放生 寛治 (入船)

村井 隆 (湊) 網谷 隆幹 (中町)

阿尾 敏男 (浜町) 加納 瑞穂 (新町)

小林 寛次 (幸町) 田畑 一 (池田町)

河元 隆 (池田町) 松尾康次郎 (北加納)

中尾 友秀 (宗源寺) 川上 三郎 (諏訪野)

東地域安全なまちづくり会長 藪中 進

東地区老人会長 野村 安夫

東地社会福祉協議会長 高澤 正三

リトルひがし代表 恵比寿泰子

